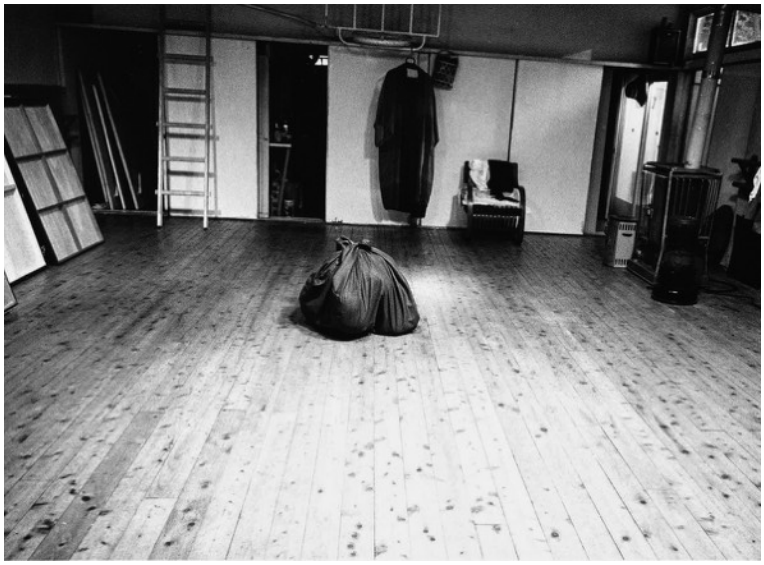


1

© Kenji Ishiguro, courtesy of Akio Nagasawa Gallery

石黒健治
「Tatsumi Hijikata – Furoshiki and Dog」

このたび、Akio Nagasawa Galleryでは、石黒健治個展「Tatsumi Hijikata – Furoshiki and Dog」を開催いたします。

石黒健治は1935年、福井県生まれ。Akio Nagasawa Galleryでは、2018年の「HIROSHIMA 1965」以来、二度目の個展となります。

本展では、1970年に石黒が舞踏家・土方巽を撮影した作品を展覧いたします。

撮影当時、石黒は、被写体となる人物を袋でくるんで撮影するという演出を試みていました。土方もその対象となり、風呂敷で身体をくるむことで拘束しつつ、「不具者」として動くことを強いたとされています。後に土方は、自らの舞踏を「立たない踊り、立てない踊り」と標榜するようになりますが、石黒によるこの撮影は、その発火点になったとも言われています（※）。

撮影は、舞踏家の元藤燁子によって設立され、1960年代に土方が「アスベスト館」と名付けた稽古場を中心に行われました。この撮影の少し後、三島由紀夫が土方巽に会うためアスベスト館を訪れましたが、その約1週間後の1970年11月25日に三島は自死します。そして、まさにその日に、石黒が撮影した写真が印刷されたといいます。

本シリーズからは3点の作品が、同年に『世界画報』（国際情報社）にて初めて公開されましたが、その他の作品は長く未公開のままとなっていました。本展では、これまで未公開だった作品を含め、本シリーズの全貌をご紹介いたします。また、展覧会にあわせて写真集も刊行いたします。ぜひこの機会にご高覧ください。

※石黒健治『Tatsumi Hijikata Furoshiki and Dog』（Akio Nagasawa Publishing、2026年）所収の森下隆「1970／石黒健治と土方巽のstruggle」参照。

撮影の日、160 cm四方のフロシキを持参した。

フロシキは、一枚の布の四隅を結んでパックする日本独特のパッケージスタイルだ。

土方さんは承諾し、パッキングされた。

フロシキ包みは、アスベスト館のフロアに、忘れられた荷物のようだった。

……フロシキは静かに、激しく、舞踏を始めた。

－石黒健治

《作家略歴》

石黒健治

写真家。1935年福井県生まれ。1959年、桑沢デザイン研究所在学中に、日本写真協会賞・新人賞を受賞。主な写真展に「不幸な若者たち」「ナチュラル」「シアター」「若き獅子たち」「Elephant Love」など。主な写真集は『広島 HIROSHIMA NOW』(深夜叢書社、1970年)、『ナチュラル ONENESS』(ノーベル書房、1992年)、『不思議の国』(彩流社、2015年)、『青春1968』(彩流社、2018年)、『HIROSHMA 1965』(Akio Nagasawa Publishing、2018年)など。そのほか、ミステリードキュメント『サキエル氏のパスポート』(潮書房光人新社、2001年) 著。また、映画『人間蒸発』(今村昌平監督、1967年) 撮影担当、『無力の王』(東映セントラル、1981年) 監督など、多方面で活躍。

《開催概要》 **［土方巽100］参加展**

作家名	石黒 健治（英表記：Kenji Ishiguro）
タイトル	「Tatsumi Hijikata – Furoshiki and Dog」
会期	2026年10月14日（水）～11月28日（土） 火曜～土曜 11:00－19:00（土曜 13:00－14:00 CLOSED） 休廊日：日曜、月曜、祝日
会場	Akio Nagasawa Gallery Ginza [map] 東京都中央区銀座4-9-5 銀昭ビル6F　TEL：03-6264-3670 公式ページ
協力	森下隆（慶應義塾大学アート・センター／土方巽アーカイヴ）

◆オープニングレセプション：2026年10月14日（水）18:00～20:00［作家在廊予定］

《関連イベント》

10月14日（水）18:30～　舞踏家 小林嵯峨さんによる特別パフォーマンス

小林嵯峨プロフィール

1969年土方巽に師事。「四季のための二十七晩」「静かな家」に出演し、〈燔犠大踏鑑〉の一員として活動する。1975年独立〈彗星倶楽部〉を結成。その後〈麒麟〉を経て1985年には〈小林嵯峨＋鷲 NOSURI〉を結成し、「AURAシリーズ」を行う。「月姫（GEKKI）– 無意識の花」（シアタートラム）などを発表後、「無題シリーズ」を行い舞踏の原点へと遡行、新たな可能性を探る作業を行っている。ヨーロッパ、アメリカをはじめ海外での活動も多い。2024年、米国イェール大学より招聘され、ワークショップと公演を行う。小林嵯峨＋鷲 NOSURI主宰。**Instagram**

《関連書籍》

石黒健治『Tatsumi Hijikata Furoshiki and Dog』
2026年10月 Akio Nagasawa Publishing刊
予価6,000円（税別） 限定900部

《広報・ご取材に関するお問い合わせ》

AKIO NAGASAWA Gallery | Publishing（担当：後藤）goto@akionagasawa.com

《広報用画像》

ご希望の画像番号をお申し付けください。© Kenji Ishiguro, courtesy of Akio Nagasawa Gallery

2



3



4



5



6



7

